

市役所全庁における普及啓発事業について

～ゲートキーパーイラスト PR 大作戦～

【実施主体】 岩手県久慈市

【概要】

ゲートキーパーイラスト入りのバッチを市独自に作成し、市民の各種手続きや事業を実施する市長はじめ市職員全員がゲートキーパーバッチを着用することにより、市民及び職員のこころの健康づくりと自殺対策についての知識と意識の高揚を図るための取組。

特に、9月の岩手県自殺防止月間や3月の岩手県自殺対策強化月間には取り組みの強化を行っている。

【大綱の分類】

7. 社会全体の自殺リスクを低下させる

【政策パッケージ分類】

- 基1) 地域におけるネットワークの強化
- 基2) 自殺対策を支える人材の育成
- 基3) 住民への啓発と周知
- 基4-1) 居場所づくり
- 基4-2) 自殺未遂者等への支援
- 基4-3) 遺された人への支援
- 基5) 児童生徒のSOSの出し方に関する教育
- 重1) 子ども・若者
- 重2) 勤務・経営
- 重3) 生活困窮者
- 重4) 無職者・失業者
- 重5) 高齢者
- 重6) ハイリスク地
- 重7) 震災等被災地
- 重8) 自殺手段
- その他 (いずれにも該当しない、妊産婦、マイノリティ等)

【事業実施年度】 2021年

【事業予算】 ￥286,000

【利点】

- ▼市民一人ひとりがこころの健康づくり、自殺対策へ関心を持つ。ゲートキーパーの普及。市民全体の意識の向上につながる。
- ▼市民サービスの窓口である市職員全員がゲートキーパーとなる。

【実施に至るまで】

背景・必要性・理由の概要

①岩手県の自殺死亡率は全国でも高位にある。増減はあるが、久慈市の自殺死亡率は全国よりも高い状況にある。

(2019年：全国 15.7、岩手 20.5、久慈市 26.8)

(2020年：全国 16.4、岩手 21.1、久慈市 18.2)

②2008年から2019年までの6月～9月に市役所の窓口職員が自殺予防啓発Tシャツの着用による普及啓発の取り組みを行ってきた。あらゆる対象に向けての啓発が重要であり、2021年度から全庁的な取り組みとしてゲートキーパーバッチの着用を行っている。併せて、市公用車にゲートキーパーマグネットシールを貼る等、機会を捉えた啓発を行っている。

事業計画を立てる上での工夫

①あらゆる方々にこころの健康づくりや自殺対策についての現状や知識、窓口等を知っていただけるよう、バッチやマグネットシールの他、封筒にシールを貼る、市の健診、保健事業等で“ゲートキーパーイラスト大作戦”として普及啓発を行っている。

事業の具体的な内容

- ▼ゲートキーパーバッチ着用、市公用車へゲートキーパーマグネットシートを貼る。
- ▼各種健診や保健事業等でこころの健康づくり、セルフケア、相談窓口の周知等、普及啓発を行う。
- ▼市広報等で、取り組みの周知。市広報に「大切なあなた」という記事欄を設け、4～5回／年、こころの健康づくり、セルフケア等について普及啓発を行っている。

【成 果】

- ▼あらゆる機会を捉えて啓発することにより、市民からの相談数が増加した。
- ▼全庁的な取り組みにより、ゲートキーパーの増加、庁内各課からの相談がつながるようになった。また、自殺対策計画の進捗状況調査への意識が高まった。庁内のあらゆる事業が、自殺対策の生きる支援であるという意識が高まった。
- ▼地域の見守り体制が強化される

【補 足】

- ▼ゲートキーパーバッチ



【課 題】

- ▼特になし



【事業種別】	普及啓発事業
【準備期間】	100日
【人 数】	4人（担当職員）
【人口規模】	32,055人（2021年4月1日現在住民基本台帳人口）
【財政規模】	¥19,321,000,000（2021年度一般会計当初予算）
【自治体負担率】	50%（補助金名：地域自殺対策強化交付金）
【事業対象】	市民
【支援対象】	市民
【委託の有無】	無
【実施主体・問合せ先】	TEL：0194（61）3316 岩手県久慈市 生活福祉部 保健推進課 Mail：hokensuisin@city.kuji.iwate.jp

【参考資料・文献】

なし